

電気管理技術者協会 会員 様

三菱電機株式会社

製造者: 東洋電機株式会社
区分開閉器品証課

三菱屋外用高圧交流気中負荷開閉器(E-PAS)の点検と交換について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社製電機品をお引き立て賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社製屋外用高圧交流気中負荷開閉器(E-PAS)につきましては、ある一定期間に製造しました製品でご迷惑並びにご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

今回の添付資料「情報提供のお願い」は、以前よりお知らせしておりました内容で、既に需要家様情報の提供をいただいていることと存じます。

しかしながら、未だに対象品との認識がなく情報をいただけなかった需要家様で事故が発生しております。

つきましては、管理されておられます需要家様のPASを今一度ご確認いただき、情報いただけていない需要家様並びに新たにご契約されました需要家様につきましては、添付の情報記入票に設置場所他をご記入の上、FAXいただきたく、ご協力の程 何卒よろしくお願い申し上げます。

また、該当品に係わらず停電点検等のPAS操作時には、機器の経年劣化等により事故につながるものが考えられますので、安全に作業が終了されるように無負荷状態での操作を推奨いたします。 敬具

■添付資料

- | | |
|------------------------------------|-----|
| ① 情報提供のお願い(本紙裏面) | 1 部 |
| ② 情報記入票(別紙表紙)／E-PAS停電点検時のご注意(別紙裏面) | 1 部 |

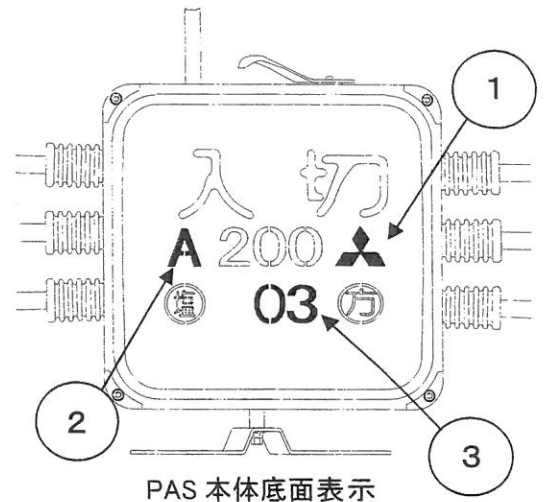
✕

情報提供のお願い

三菱屋外用高圧交流気中負荷開閉器(PAS)の点検と交換について

当社が販売いたしました下記期間の一部仕様のPASにおきましては、波及事故に至る可能性があるため、点検または交換対策を実施しております。

PAS本体底面の表示で、①・②・③全ての項目が該当する場合、入切操作は行わずに、別紙情報記入票の提供をお願いいたします。



開閉器 底面の記載	① 表示 : あり	(無は、他社製のため対象外)
	② アルファベット : A	(Gは、PGSのため対象外)
	③ 製造年 : 03・04・05・06・08・09	(その他は、期間外のため対象外)

※『03』表示で一部、開閉器の形状が異なる対象外の機種(亀PAS: 形名PKS-2SL30又はPKS-2DL30)があります

【対象期間と内容】

製造年月	2003												2004												2005												2006											
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
対象期間	1												2												3												2											

製造年月	2007												2008												2009											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
対象期間													4																							

対象期間	対象形式	処置内容
1 2003年7月～ ～2006年10月	PAS-E□□□□3□	【ハンドル軸部・指針軸部の発錆】 予防保全として更新を推奨。
2 2004年8月～10月 および 2006年2月、3月	PAS-E□□□□30 PAS-E□□□□3A MPAS-E□□□□□□	【制御ケーブル部からの水分浸入】 対象期間の開閉器は、全数交換。
3 2005年6月、7月	PAS-E□□□□3□ MPAS-E□□□□□□	【ハンドル軸部からの水分浸入】 対象期間の開閉器は、全数交換。
4 2008年7月～ ～2009年4月	PAS-E□□□□3□ MPAS-E□□□□□□	【本体合わせ部からの水分浸入】 対象期間の開閉器は、全数交換。

※上記期間品の中から製造番号により対象品を判別します。

※一般社団法人日本電機工業会(JEMA)ではPASの更新推奨時期を10年としています。

お問合せ先 : 三菱電機 E-PAS 対策室 TEL: 0120-308-772(電話受付は平日 9:00～17:00)

FAX: 0795-82-5308 TEL: 0120-308-772

三菱屋外用高圧交流気中負荷開閉器(E-PAS)需要家様 情報記入票

1. ご記入者

貴社名			
お名前	(フリガナ)		
住所	(〒)		
電話番号	携帯:	FAX番号	

2. 設置場所

需要家名	(フリガナ)		
住所	(〒)		
担当者	所属	お名前	(フリガナ)
電話番号		FAX番号	

3. 調査対象品

調査対象: 2003~2009年製造のE-PAS

★本体形名、製造番号が判明している場合

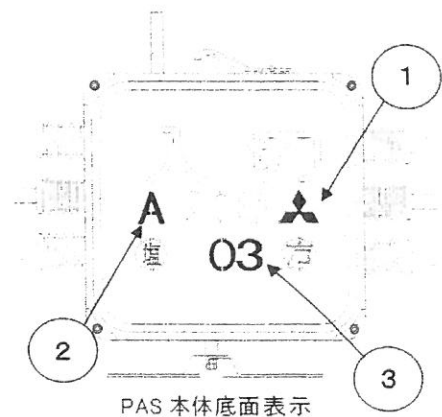
本体形名と製造番号をご記入願います。

開閉器	形名: PAS-
	製造番号 ()

★本体形名、製造番号が不明の場合

制御装置形名が判明していましたらご記入願います。

制御装置	形名: SOG-
	製造番号 ()



★形名等が不明の場合

開閉器底面の表示をご確認いただき、該当する仕様に『○』印をご記入願います。

開閉器 底面の表示	① 表示: 有	(無は、他社製のため対象外)
	② アルファベット: A	(GIは、PGSのため対象外)
	③ 製造年: 03・04・05・06・08・09	(その他は期間外のため対象外)

※1: 『03』表示で一部、開閉器の形状が異なる対象外の機種(亀PAS: 形名PKS-2SL30又はPKS-2DL30)があります

※2: 『09』表示で月表示があればご記入願います。

FAXを受理いたしましたら、当社よりFAX受理のご連絡を致します。連絡が無い場合は、FAX未受信の可能性がございますので、お手数ですが再送信をお願い申し上げます。また、お客様の個人情報は、本点検目的以外に使用する事はございません。

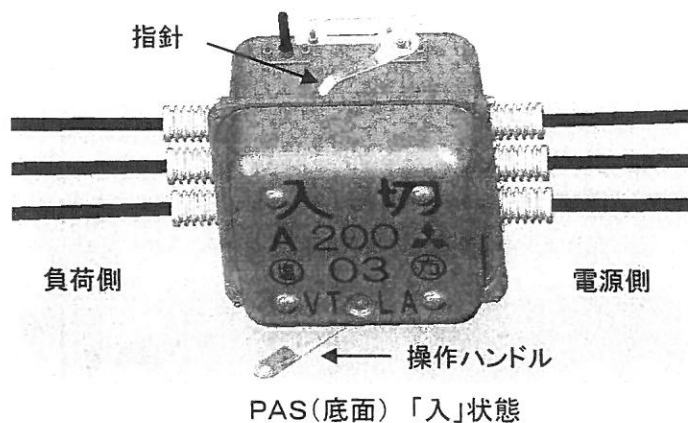
電気管理技術者 様

三菱電機株式会社
製造者:東洋電機株式会社

屋外用高圧交流気中負荷開閉器(E-PAS)の停電点検時のご注意

屋外用高圧交流気中負荷開閉器(PAS)は、高圧受電設備の重要な回路に使用されており、日常巡視および定期点検にて適切な保守をいただいておりますが、万一、開閉性能が低下した場合は、停電点検時のPAS開閉操作により事故に至る可能性があります。

開閉機能が低下したPASで電流開閉を行なうと電流の遮断不能となり、事故に至る可能性がありますので、停電点検においては、以下の手順で操作を行ない、動作に問題がないことをご確認くださいようお願いいたします。



推奨手順

- ① PASが供給している受電設備の主遮断装置を開放し、コンデンサ等の負荷を切り離す。
- ② PASの負荷側が無負荷となっていることを確認する。
- ③ PASを開放する。初回の操作は操作ロープで実施する。
- ④ 操作ロープで「切」操作を行い、指針がすばやく確実に「切」位置になることを確認する。
- ⑤ 指針が「切」位置になれば正常に動作しているので、継続してその他の点検(PAS本体とSOG制御装置の組合せ動作試験ほか)を実施する。

※上述の手順は、PAS本体とSOG制御装置の組合せ動作試験を禁止するものではなく、初回の開放操作の注意事項です。

(注意)

指針が「切」位置にならなければ、すぐに操作ロープで「入」操作を行う。
PASの開閉性能低下が考えられるため、交換を検討ください。

